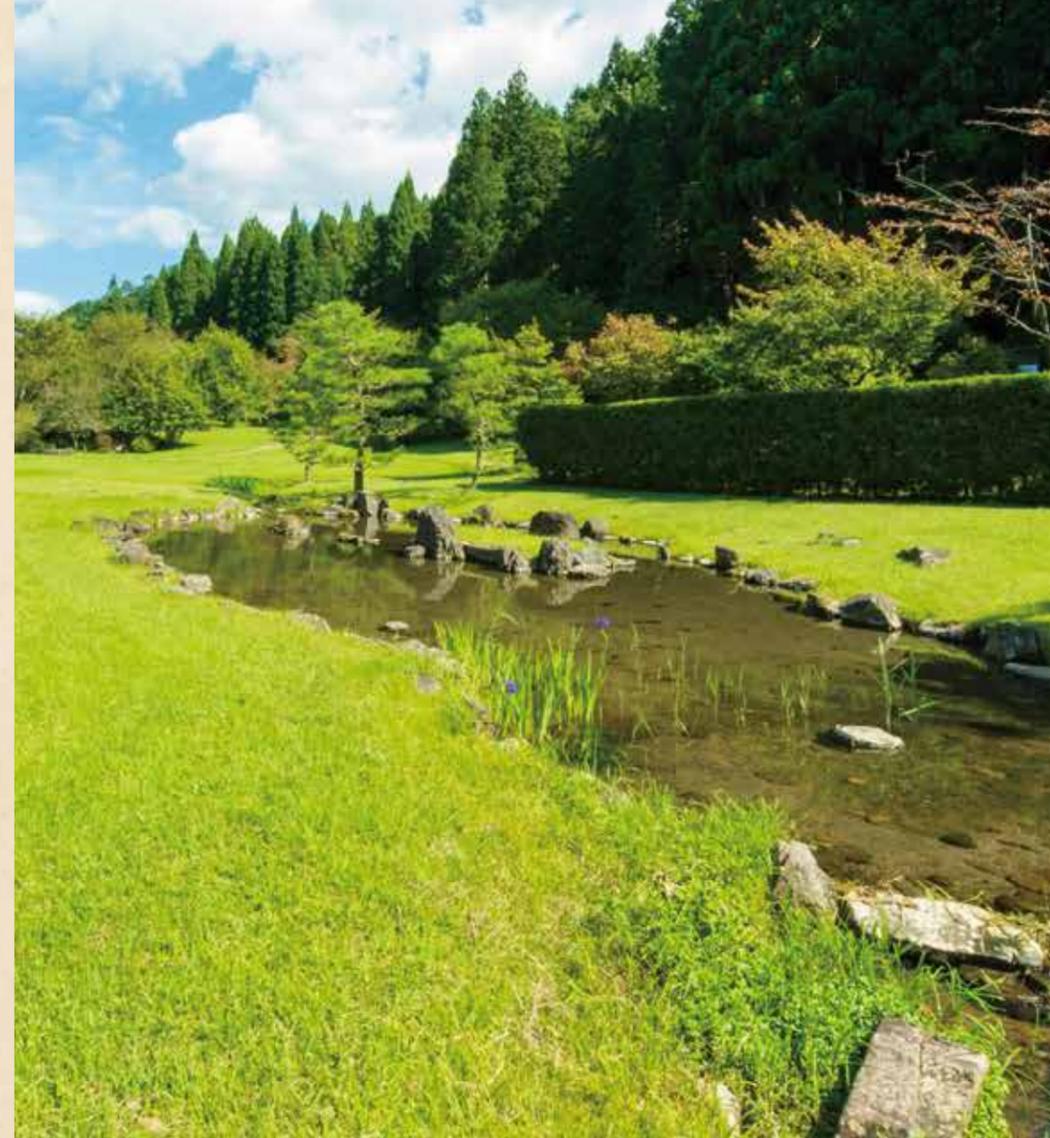


# 古今伝授の里短歌大会



※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今後の状況によっては11月27日の曲水の宴、28日の短歌大会の内容を変更したり、やむなく中止することがあります。短歌大会が中止の場合でも、選考は行い、入賞作品集を刊行、全ての投稿者の方に送ります。内容に変更が生じたり中止にしたりする場合は、全ての投稿者の方にはお知らせしますし、古今伝授の里フィールドミュージアムのホームページ (<http://www.kokindenju.com>) に速やかに掲載します。



## 郡上東氏 800 年・古今伝授 550 年祭記念 古今伝授の里短歌大会

- (第1日目) 曲水の宴 令和3年 11月27日(土) 13:30～  
古今伝授の里フィールドミュージアム(岐阜県郡上市大和町牧912-1)
- (第2日目) 短歌大会 令和3年 11月28日(日) 13:00～16:00  
郡上市総合文化センター(岐阜県郡上市八幡町島谷207-1)
- (両日共通) 吟行会 令和3年11月27日(土)28日(日)に、現地会場で投稿用紙を有料配布します。後日選考、入賞作品のリーフレットを発行します。

- 投稿締切 **令和3年8月23日(月)**(当日消印有効)  
※郡上市内の小中学生を対象としたジュニアの部の締切は令和3年9月10日(金)当日消印有効  
募集要項・応募用紙は別にあります。
- 投稿料 投稿用紙1枚につき1,000円(振込手数料はご負担ください)
- 大会選者 梅内美華子 江戸雪 小塩卓哉 桐山五一 後藤左右吉 佐佐木幸綱 鈴木竹志 永田和宏 ※敬称略、五十音順。ジュニアの部の選者は記載していません。
- 大会講演 永田和宏氏(歌人、JT生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授)



主催(共催)/古今伝授の里短歌大会実行委員会、古今伝授の里フィールドミュージアム  
後援・協賛 / 岐阜県歌人クラブ、中部日本歌人会、角川「短歌」、短歌研究社、郡上市・郡上市教育委員会、愛知県蒲郡市教育委員会、富山県高岡市教育委員会、郡上市文化協会、大和町文化協会、(一社)郡上市観光連盟、明宝ハム、道の駅古今伝授の里やまと、やまと温泉やすらぎ館、平野醸造 合資会社、母袋工房、東氏入部800年・古今伝授550年実行委員会

## 令和3年度 第27回 古今伝授の里短歌大会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として事前申込制で定員を設けて開催します。次のいずれも10月初旬頃に、投稿者の方から順に申し込み用紙を兼ねた詳しい案内を送る予定です。

### ■ 古今伝授の里・曲水の宴 11月27日(土) 13:30～



記念大会のアトラクションとして、東常縁ら東氏一族の居館跡「国名勝・東氏館跡庭園」で「曲水の宴」を挙行します。平安朝風の優美な世界をお楽しみください。

会場: 古今伝授の里フィールドミュージアム 国名勝東氏館跡庭園  
(岐阜県郡上市大和町牧912-1、雨天特別会場)  
観覧料: 1,500円(予定)  
定員: 80名(予定/事前申込制)

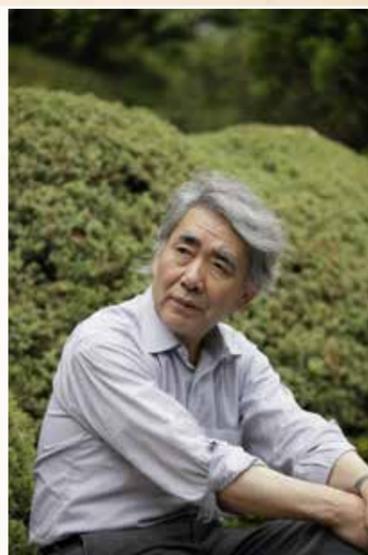
### ■ 第27回 古今伝授の里短歌大会 11月28日(日) 13:00～16:00

郡上東氏は、1540年に、古今伝授の里にある「篠脇城」から、「赤谷山城(東殿山城)」に拠点を移します。その山城跡の目の前にあるのが、今回の短歌大会の会場です。紅葉最盛期の城下町・郡上八幡散策もあわせてお楽しみください。

会場: 郡上市総合文化センター(岐阜県郡上市八幡町島谷207-1)  
入場料: 無料  
定員: 250名(予定/事前申込制)

内容: 式典、記念講演、選者の先生方による選評(表彰式は開会前の12:30～13:00に開催予定)  
講師講師: 永田和宏氏(歌人、JT生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授)

プロフィール: 1947年滋賀県生まれ。京都大学理学部物理学卒業。米国NIH(国立がん研究所)客員准教授を経て、京都大学胸部疾患研究所教授、同再生医学研究所教授、京都産業大学総合生命学部学部長、同タンパク質動態研究所所長などを歴任。2020年4月より現職。塔短歌会主宰(2014まで)、朝日歌壇、宮中歌会始詠進歌選者など。紫綬褒章、ハンスノイラート賞(USA)他、歌人とし読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、現代短歌大賞など受賞多数。歌集15冊の他、『近代秀歌』『現代秀歌』『タンパク質の一生』(以上、岩波新書)、『歌に私は泣くだらう』(新潮文庫)、『生命の内と外』(新潮選書)、『知の体力』(新潮新書)、『象徴のうた』(文藝春秋)など多数。



### ■ 11月27日・28日に吟行会を開催、当日詠を募集します(会場で投稿用紙を販売、後日選考・発表)



郡上東氏八〇〇年・古今伝授五五〇年の今年、郡上東氏ゆかりの「ペア短歌」部門にもぜひ投稿を!

鎌倉時代から室町時代にかけて約三四〇年にわたり、美濃国郡上郡山田庄(現・岐阜県郡上市大和町を中心とする一帯)を治めた領主一族・東(とう)氏。一首でも入撰すればこの上ない名譽とされた「勅撰和歌集」に、一族で七十二首も入撰しているように、和歌に優れた一族でした。もとは下総国(現・千葉県)の有力武士団・千葉氏の一族で、承久三年(一一二一年)の「承久の乱」で手柄を立て、当地を加領されたと言われます。ちょうど八〇〇年前のことです。  
また、郡上東氏九代目・東常縁が、連歌師宗祇に「古今伝授」をしたのは、文明三年(一四七一年)で、五五〇年前のことになります。  
今年二〇二一年は、郡上東氏が当地を加領され八〇〇年、古今伝授五五〇年の二つの節目が重なっています。

さて、「古今伝授の祖」東常縁には、「和歌の功德」と称えられた逸話が残されています。ときは室町時代の応仁二年(一四六八年)、郡上東氏の居城・篠脇城は、斎藤妙椿に奪われますが、常縁が和歌を贈ったところ、和歌に感動した妙椿は、返歌とともに城と領地を返還したというものです。

当大会では、この逸話にちなみ、贈り合った短歌(贈答歌)を対象とする、「ペア短歌」部門を設けています。歌には、人の心を動かす力があります。短歌を贈り合うことは、人と人との心のつながりと、言葉の力をたしかめる機会になるのではないのでしょうか。  
こんな時代だからこそ、大切なご家族と、お世話になった方と、ご友人と、恋人と・・・二人一組のペアで短歌を贈り合い、投稿してください。

#### 【前回の古今伝授の里短歌大会ペア短歌の部の入賞作品】

##### ● 大会大賞

胸割ぎて麻酔の覚めし枕辺に息子ふたりの笑顔並べり

河野ひさ江さん(母)

母の胸割がれて盆に示されし我と弟吸ひし乳首

千葉県茂原市 河野誠一郎さん(息子)

